

生涯学習館

11日(月)～18日(月)は蔵書点検、
29日(金)は館内整理日のため休館です。

開館時間 平日10:00～19:00
土・日 9:00～17:00



蔵書点検のお知らせ

7月11日(月)～7月18日(月)

上記期間は河口・大石・上九一色分館も休館となります。

本館・分館とも貸出し開始は7月19日(火)からです。

ご迷惑をおかけいたしますがご理解・ご協力をよろしくお願いします。



夏休み企画①

夏の夜のこわ～いおはなし会

こわい話で暑い夜を乗り切ろう。
勇気ある皆さんの参加を待ってます…

日時: 7月22日(金) 午後7時30分～午後9時

場所: 生涯学習館

対象: 小学校3年生以上

定員: 35名 (お早めにお申込み下さい)

持ち物: としょかんパスポート (持っている人)

*終了が遅い時間になりますので必ず保護者の方のお迎えをお願いします。

夏休み企画②

料理教室&アニメーション

絵本を使ったゲーム=アニメーションで楽しみましょう!
今年はあまくておいしいマフィンを作るよ♪

日時: 7月27日(水) 午前10時～正午

場所: 中央公民館 和室・実習室

対象: 小学生

定員: 20名 (なり次第しめきり)

参加費: 200円

持ち物: エプロン、三角巾、マスク

としょかんパスポート (持っている人)

申込み: 7月19日(火) 12:00より開始



両教室とも申込みが必要です。お電話(73-1212)もしくは窓口までお願いします。

なお、蔵書点検中は受付ができませんのでご了承下さい。

調べる学習コンクール優秀作品展示

図書館資料を使って調べた研究の成果を展示します。自由研究の参考にしてみてね!

7月19日(火)～



1冊の本から見える、いろんなキモチ。

第55回読書会

日時: 7月23日(土) 午後2時～

場所: 生涯学習館 学習室1

課題: 「ヒルズ・エンド」

アイバン・サウスオール/著



新規参加者大募集!!

♪新着書案内♪

◎江戸時代の古文書を読む/竹内誠 ◎弁護士イチオシ! 困ったときのネット検索/近藤早利 ◎暴走する原発/広河隆一 ◎職場であなたを困らせる病的な人格者たち/山脇由貴子 ◎思春期っ子はみんなバカ!!/新川てるえ ◎絶滅したふしぎな巨大生物/川崎悟司 ◎40歳から食べても太らない方法/伊達友美 ◎1日100円「病気になるない」食事実践レシピ/内幕秀夫 ◎鶏肉レシピ/検見崎聡美 ◎愛犬のための食べもの栄養事典/須崎恭彦 ◎どうかと思うが、面白い/平山夢明 ◎半島へ/稲葉真弓 ◎てふてふ荘へようこそ/乾ルカ ◎真夏の方程式/東野圭吾 ◎幸福な生活/百田尚樹 ほか

◎読み聞かせ会◎

●0・1・2・3歳対象 (午前10時30分～)

ブラウンベア (えいご) 7月19日(火)

うさぎのおやこ 7月26日(火)

●幼児～小学生低学年対象
(午後1時30分～)

パパのえほんタイム 7月 9日(土)

イトワールの会 7月23日(土)

7月の分館の予定

	開館日	開館時間	読み聞かせ会
大石・河口	火・木曜日	午後3時～6時	19日 (河口 4時30分～ 大石 4時45分～)
上九一色	月～金曜日	午後1時～5時	21日 (午後3時30分～)



問い合わせ/生涯学習館

TEL ☎ 0555-73-1212 FAX ☎ 0555-73-1358

URL 🌐 <http://www.fujikawaguchiko.ed.jp>

E-mail ✉ library@fujikawaguchiko.ed.jp

〈地域社会活動と地域ボランティア活動〉 ～広げようネットワークの輪～

富士河口湖町女性交流センター
みずうみ通信



～助け合いのこころを束ねて～

炊き出しの記録（宮城県山元町へ）

平成23年5月14日（土） 「炊き出し準備」

中央公民館実習室で食材の準備にかかる。山と積まれた野菜を丁寧洗い、そして刻む。

これは女性ボランティアが担当。いずれも調理のベテランばかり。男性は買物に走り、資材の用意をする。さらに支援物資をまとめ、食材と共に、すべてをトラックへ積み込む。男性でなければ不可能な重労働だ。この姿に男性ボランティアのあふれる心意気を感じた。



前日炊き出しの準備

5月15日（日） 「炊き出し当日」

午前零時、車を連ねて大池公園を出発。真夜中の道を山元町をめざして走り続ける。東北自動車道に入り、那須高原を過ぎた辺りから、地震の影響で道路の繋ぎ目の高度差が激しくなり2メートルトラックには過酷な道程であった。やがて現地に入り、海に近づくにつれ電柱は傾き、全壊の建物のがれきが山の如く積

まれ、実際自分の目で見た惨状は言葉では表現できない恐ろしい様相に胸が潰れる思い。誰もが悲痛な表情でみつめていた。

午前八時、山元町役場に到着。ミーティングを行い、さっそくそれぞれの炊き出し箇所へ。真庭区民館では、隣のグラウンドで元気に野球練習に励む小学生が目飛び込んできて、一瞬緊張していた気持ちがほぐれた。

いよいよ「ほうとう」の炊き出しを開始。

区民館には約90人の方が避難されていて、他の方々は仮設住宅へ移られたとの事。そこで120食の炊き出しをする事に決める。前日の下準備が実にしつかり出来ていて、さらに緻密なレシピが添えられていたので、仕込みは至つてスムーズ。肝心の味付けもバッチリ。皆さんにおいしい「ほうとう」を食べて貰えて本当によかった。なお、キャベツの一夜づけも大人気でボランティアの分は早々に無くなった。グラウンドの野球少年にも食事をしてもらう。「ほうとうって初めて食べた。」と大喜び。礼儀正しく挨拶する姿に復興への明るい未来を感じることができた。こうして、張りきつて配膳を続けた結果、「あつ足りない」なんて事に。

被災された人々の笑顔と、「ありがとう」の言葉が心にしみて、昨日からの疲れも吹っ飛び、ぬくもりある炊き出しができて本当に嬉しかった。



ほうとうは最高の味に

一方、坂元支所の被災者は12名で、ほかの方々は仮設住宅へ移動されたとのこと。そこで、

炊き出しは百食分と決め調理を開始する。ところが、アナウンスと共に仮設住宅の人達が続々と集まり、配膳は大忙し。お味噌仕立、野菜たっぷりの山梨ほうとうに笑顔があふれた。

「有難とう」を繰り返す高齢の方々に胸が熱くなり、再度励ましに訪れたいと深く感じた。



現地配食のようす

共に協力下さった皆さまに

このたびの「炊き出し」については、期せずして、長崎幸太郎事務所と、NPO富士山地域創造の二団体が同じ山元町を訪れましたが、実は県内有志の方々からも多くの支援物資を托され、厚いご協力を寄せて戴いたことを、ご報告致します。有り難うございました。実施にあたっては被災地との細やかな連絡、現地の下見。そして当日は、九名のマッソージ師を同行する等の配慮も致しました。愛の支援物資は現地山元町役場へお届けしました。最大の苦難に立つ人々に励ましの心を束ねたボランティアを今後も続けて参ります。

編集

センターみずうみ

富士と湖の 自然をみつめて

Nature in and around Mount Fuji



アースウォッチ・プロジェクト 2011年度第2回も無事終了

6月17日から19日の2泊3日の日程で、本年度第2回のアースウォッチ・プロジェクト「富士山及び周辺の絶滅危惧チョウ類」が開催されました。最も遠くは京都から夜行バスで往復して下さった方、愛知県犬山市から毎回参加して下さる方、その他、埼玉県・東京都・千葉県からの5名(内3名はリピーター)を加えて計7名のボランティアの方々が参加して下さいました(写真)。5月とは逆に、梅雨時で1度も富士山の頂上が見えない天候でしたが、天気予報より良い状態が続き、2日目の午後雨で早く切り上げた他は予定通りの調査を実施することが出来ました。その結果、ミヤマシジミ・アサマシジミ・ヒメシジミ・ギンイチモンジセセリの絶滅危惧種4種を含む貴重なデータなど、大きな成果を得ることが出来ました。



今回と7月のプロジェクトには花王(株)から各4名のボランティアを派遣して下さいる予定で、今回も化学や人事担当といった仕事を担当されている方々4名が初参加して下さい、1日目の夜のレクチャーでは、これまでにない位の熱のこもった意見も出され、様々な視点から日本を代表する富士山の自然を見つめなおすきっかけにもなりました。

河口湖フィールドセンター周辺の自然

～ウサギコウモリの出産が確実となりました&今年もモリアオガエルが産卵しました～



先月号でウサギコウモリの出産の可能性も考えられると報告しましたが、5月に見られた個体と同じと思われる個体(金属の脚輪がついたオスではない)が6月10日に胎内神社の天上で見つかりました。12日にも同じと思われる個体が休んでいたもので、個体識別のために腹部(先月号では背中と書きましたが腹部の間違いです)に黄色のマーカーで点を2つ付けました。そしたら飛び立ちしばらく旋回していましたので、カメラで何枚か飛んでいるところの写真を撮りました。その中の1枚を拡大したのが左の写真です。はっきりと乳頭が見えていることから、授乳中のメスと判断されました(都留文科大学の北垣憲仁先生も間違いなくおっしゃっております)。子供のコウモリが胎内樹型の奥にいるはずですので、いつその姿

を見せてくれるかワクワクしながら待っています。

一方、河口湖フィールドセンターのピオトープの池には毎年、ヤマアカガエル・アズマヒキガエル・モリアオガエルの3種類のカエルが時期をずらしながら産卵します。今年も先月からモリアオガエルの産卵が始まり、木の枝に白い泡の卵泡がいくつも見られます。6月21日現在で13個の卵泡が確認されています。6月12・19日には梨ヶ原の水路でもモリアオガエルの卵泡とオス・メスの親各1頭が見られました。通常は木の上にいるのでなかなか親の写真は撮れないのですが、丁度良い高さのイタダリの葉の上に休んでいて写真に収めることが出来ました(写真)。昨年は河口の裏山でも確認していますので、モリアオガエルは思ったよりも広い範囲に生息しているのではないかと考えられます。モリアオガエルと思われるカエルを見かけた方は是非お知らせ下さい。



ショート・ニュース

- 7月のアースウォッチ・プロジェクトは22～24日に6月と同様実施予定で、定員8名に達しています。
- 7月末に北海道大学で開催される日本鱗翅学会で「絶滅危惧種アサマシジミの局所個体群構造について」と題して口頭発表する予定です。
- 夏休みをスタートに8・9月の2月間開催している富士山写真展も4回目になりますが、今年は、「河口湖フィールドセンター周辺自然林の自然(仮称)」をテーマにして開催する予定で準備中です。

ご意見・ご質問は、TEL 0555-72-4331 (FAX 72-4341) 河口湖フィールドセンターまで

町の文化財紹介

富士河口湖古の小径

七月の河口浅間神社の祭典について

○太々御神楽祭（オダイダイ）

河口浅間神社では、毎年七月二十八日に太々御神楽祭が行われ、地元では「オダイダイ」と呼ばれ、春の例大祭とともに親しまれている。地域の歴史の中において尊い大きな祭りとして、古代からの伝統に従い、大切に継承されている。

春の例大祭は、稚児の舞を奉納し、神社の祭神である木花開耶姫命が孫の誕生の御見舞に御神輿に産着をたずさえて御神幸される祭儀で、「孫見祭」ともいわれている。一方、太々御神楽祭は、平安時代の貞観六年（八六四）に富士山西方の側火山が大噴火を起こし、富士北麓が大被害を受け、翌年の貞観七年（八六五）勅命により浅間明神を祀り、富士山の噴火を鎮められた祭神の霊をお慰めするよう稚児の舞を奉納する祭りとなされたと伝えられ、奉謝鎮祭と言われている。

この稚児の舞に奉仕する稚児は、河口に住む七歳から十二歳の童女で、古くは河口浅間神社の神職が御師の子に限られ、両親が健在であることなど厳しい条件の中で奉仕の資格を得るなど、時代が古く遡るのにしたがって厳格であったが、現在は河口地区の氏子全体の中から選ばれる。しかし、両親が健在であることが絶対条件とされ、神社に対する信仰心の厚さ、その他が考慮され厳しい条件が守られながら選ばれている。

稚児に選ばれ



ると、祭礼にむけ一ヶ月あまりに渡って舞の手ほどきや作法などの指導を受け、奉納の心構えを学んでいく。奉仕の稚児は「オイチイさん」の愛称で呼ばれ、「オイチイ」は巫女（神子）であり、河口の稚児の舞は「巫女（神子）舞」とも言われている。舞は御幣の舞、扇の舞、剣の舞、八方の舞、宮巡りの舞の五つの舞があり、稚児は白衣を着て緋の千早、緋の差袴、錦織の陣馬織を羽織り、緋の櫛を掛け、身を整え、髪に誠を捧げる熨斗紙を水引で結び、舞環路を載せる姿は誠に美しく優雅で奉納にふさわしいものである。

稚児の舞祭儀の大鼓が鳴り、カミオロシの笛が響き、舞が奉納される。五つの舞の最後に宮巡りの舞を奉納。夕せまる頃、稚児全員で舞殿である拝殿から下座廻廊へ、本殿正面の浜床の階に舞い込み、御本殿に向って全員立止まり、舞いながら拝む姿は、奉納の誠を捧げるそのものである。

拝殿などに居並ぶ参拝者などが静まり返り、下方（楽土）の笛、太鼓の響き、舞う稚児の持つ鈴の音が神域に冴え渡る。厳肅の中に舞い納めの太鼓の音に互いが我に返り、神に祈りを重ね、稚児の舞関係者に感謝し、太々御神楽祭「オダイダイ」を終える。

○身曾岐祭（みそぎながし）

「みそぎ」とは、身も心も洗い清めることであり、その行事には川や海、あるいは神池などに身を沈めたり、滝にうたれながら祓い言葉や祈りを唱えて行をなすものと、神社で祝詞を奏し、参詣者の心身を祓い清める祈りがある。

河口浅間神社に伝承する身曾岐祭は特殊神事であって、古代からの歴史をもち、毎年七月三十一日に行われている。

祭礼の数日前、祭儀の形代（人形の紙・男性は白、女性赤紙）が神社から氏子（各戸）に配られ、家族それぞれの人の干支（十二支）を書き神社へ身曾岐の祓いを願う。

祭儀の斎場を神社の拝殿に設け、九柱の神々を招奉祭、神事を行う。

献備品も一級の献供物の他、特殊の献備品として桃の木やナツメの木、栗の木などの若芽を用い、四ツ目八ツ目（四座置、八座置）に編み、祓具は藁人形、切麻を用意する。九柱の神に祓の祈願、各家庭から集められた形代を一枚ごと三種の祓詞を奏し、最後に富士祝詞を奏唱し式典をおさめる。

夕やみ迫る頃（午後七時）、御坂山の麓（例大祭の御神輿の旅所）から鎌倉往還（国道一三七号）及び広瀬方面の両側に手を合わせ座し、居並ぶ氏子（地区の人）に三種の祓詞を唱え、一人一人小麻にて祓いながら村中から横町へ進み、さらに湖水へ進む。この日に都合が悪くお祓いを受けられない者がある時は、家の方がその者の衣類などを捧持し身曾岐の祓いを受ける習わしがある。

御坂山の麓から人々の祓いを終え、産屋ヶ崎に斎場を設け、大祓詞、富士祝詞を奏唱し、形代や斎具を水に流し、身曾岐の神事をおさめる。富士山形に造った提灯と太鼓は身曾岐の先導をし、身曾岐の神事終了とともに神社に納められる。

この祭りは、富士山信仰の道者達が訪れる時期であり、御師の家に宿し、身曾岐の祭りに加わり、身を清めて富士に向って行かれたと思われる。

（富士河口湖町文化財審議会）

会長 中村 義朗





2011 HOKUROKU

INFORMATION

放送大学＊10月生募集のお知らせ＊

放送大学では平成23年度第2学期（10月入学）の学生を募集中です。

放送大学はテレビ等の放送を利用して授業を行う通信制の大学です。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

■出願期間は8月31日まで。

※資料を無料で差し上げています。

お気軽に放送大学山梨学習センター（電話05525112238）までご請求下さい。放送大学ホームページでも受け付けております。
HP <http://www.u-air.ac.jp>

NHK学園受講者募集中

NHK学園には、趣味・教養から語学・資格まで幅広いジャンルの講座が200コース以上あります。通信講座で新しい趣味・スキルを身につけてみませんか。

■生涯学習通信講座

■受講期間 3ヶ月～1年間

■募集対象 一般 ■受付期間 通年受付

■申込方法 電話・FAX・ホームページからお申込いただけます。

※まずは無料の案内書をご請求ください。

案内書請求フリーダイヤル

0120068881

●問合先 NHK学園

TEL 0425723151

FAX 0425741006

HP <http://www.n-gaku.jp/life>

健康科学大学×富士河口湖町

2011地域連携講座の開催について

健康科学大学と富士河口湖町が連携して実施しております「地域連携講座」を今年も開講いたします。今年は「絆」をテーマにした4つの講座を下記のとおり開講いたしますので、積極的なご参加をお待ちしております。

○7月9日（土）午後1時30分～ 中央公民館

『家族の絆』～認知症と介護～

認知症についての理解と、地域での支えあいについての講演。

講師 守口恭子 作業療法学科教授

○7月16日（土）午後1時30分～ 中央公民館

『親子の絆』～児童心理と子育て～

児童心理から子育ての姿についての講演。

講師 瀧口綾 福祉心理学科准教授

○7月16日（土）午後3時～ 中央公民館

『食の絆』～命と食～

生命に必要な食べることの重要性から食育のあり方についての講演。

講師 真野芳彦 栄養学講師

○7月23日（土）午後1時30分～ 中央公民館

『地域コミュニティの絆』

～震災地でのコミュニティづくり～

震災復興活動の報告から被災地でのコミュニティのあり方についての講演。

講師 加藤智也 作業療法学科教授

●問合先 富士河口湖町政策局 TEL 726023

県立富士河口湖高等学校から

第4回 夏休み親子科学教室

■日 時 7月30日（土）午前9時～正午

■参加人数 30組

■対象 小学3、4年生とその保護者

■その他 詳しい内容はホームページをご覧ください <http://www.kawaguchi.kai.ed.jp>

●問合先 富士河口湖高等学校（理科担当）

TEL 732511

2011 HOKUROKU

「夏休み陸上教室」短距離

■日 時 7月18日（月）午前9時～受付

雨天中止

■場 所 富士北麓公園陸上競技場

■内 容 日本陸上競技短距離強化コーチによる講義及び実技指導

（短距離走が早くなる練習方法等）

■対 象 県内在住の小学4～6年生、中学生
※ただし、保護者又は責任者の同伴が可能な児童、生徒とします。

■参加料 無料

■定 員 先着100名

■申 込 所定の申し込み用紙にボールペンで必要事項を記入し、FAX・郵送、または窓口で直接お申し込み下さい。

■申込期間 7月10日（日）まで
午前9時～午後5時

●問合先 〒4030005
富士吉田市上吉田5000

山梨県体育協会 富士北麓公園管理事務所

TEL 0555243651

FAX 0555243368

郡内地域地場産業振興センターから

「和の紙 手の技」展

県内で創作活動を行っている和紙職人による作品展。和紙で創作したうちわ、はがき、インテリア用品などの作品を展示。

■期 間 7月31日（日）まで